聖書の冒険シリーズ：ペテロの変貌

マタイによる福音書 第 26 章、ルカによる福音書 第 22 章、
使徒行伝 第 2 章の再話

聖書の中で最も傑出した人物の一人に、今日使徒ペテロとして知られている、バルヨナ・シモンがいます。彼は無骨な漁師で、いつもエネルギーにあふれた行動派でした。

キリストの個人的な指導と教えのもとにいた何年かの間、ペテロは、自分のやり方を強引に推し進めることがたびたびありました。ペテロは、12 使徒の中でも飛び抜けて率直にものを言い、思ったことは何でも口にする人でしたが、自信はしばしば彼の妨げとなり、失敗や間違いの原因になりました。

けれどもペテロは、丸3年間イエスに従った後、劇的な変貌を遂げました。これから話すのは、彼の遂げたその変貌についてです。イエスの地上での使命が終わりに近づいた時のことから話を始めましょう。イエスは、弟子達といっしょに最後の晩餐をしていました。イエスが逮捕されて十字架刑に至る、わずか数時間前のことです。

イエスは、まもなく御自分がこの世の人々の罪のために十字架にかけられて死ぬことを知っておられたので、弟子達を見回して、こう言われました。「今夜、あなたがたは皆、わたしにつまずき、わたしを残して去るであろう。『わたしは羊飼いを打つ。そして羊の群れは散らされるであろう。』と書いてあるからである。」[1]

これを聞いたペテロは、自分の信仰と力を買いかぶり、大胆にも、こう断言しました。「たとえみんながあなたを見捨てても、私は決してあなたを見捨てません！」

けれどもイエスは、穏やかに、こう答えられました。「よくあなたに言っておく。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは3度、わたしを知らないと言うだろう。」[2]

ペテロは言い張りました。「主よ、わたしは獄にでも、また死に至るまでも、あなたといっしょに行く覚悟です！」[3]

それにもかかわらず、まさにその夜、イエスが弟子達といっしょにゲッセマネの園にいた時、祭司長や長老達がつかわした兵士の一団が剣やこん棒やたいまつを手にやって来てイエスを捕まえると、弟子達はおびえるばかりで、一人残らず逃げ去ってしまったのでした。

イエスが大祭司の屋敷に連れて行かれると、ペテロは勇気を振り絞って、遠くからイエスについて行きました。屋敷に着くと、ペテロは離れた所から裁判の成り行きを見ようと、扉のそばに立っていました。すると屋敷の女中が、そわそわして落ち着きのない様子の人がいるのに気付き、疑い深い様子で、「あなたも、あの仲間の一人ね。」と言いました。

ペテロは驚いて「いや、違う！」と言って、夜警達が火を焚いて暖まっている所に移動しました。

すると他の女性が、そばに立っている人達に、「この人もナザレのイエスといっしょだったわ。あの人達の仲間よ。」と言いました。

けれどもペテロは、彼らの前で「私はその人を知らない！」と怒鳴りました。

突然、イエスが捕らえられた時にそこにいた男がペテロを指さし、大声で「ゲッセマネの園でイエスといっしょにいたんじゃないか？」と問いただすと、群衆の中に立っていた他の人達も、「確かにあなたは彼らの仲間だ！
そのなまりで、ガリラヤ人だとわかる！」などと言い始めました。

ペテロは、「何のことを言っているのか分からない。あなたの話しているその人のことは何も知らない。」と言い張り、口汚くののしり始めました。[4]

すると、ペテロがまだ言い終わらないうちに、鶏が鳴きました。イエスは、御自分を捕らえた者によって屋敷の中の他の場所に連れて行かれるところでしたが、振り返って、まっすぐペテロを見つめました。するとペテロはすぐに、「鶏が鳴く前に、3度わたしを知らない、と言うであろう。」と言ったイエスの言葉を思い出しました。

自分のしたことに気付いたペテロは、よろめきながら戸口に向かうと、その後夜の暗闇の中へまっしぐらに駆けて行きました。人気のないエルサレムの壁の下まで来ると、ペテロは地面に伏して、激しく泣きました。[5]

けれども、この話は敗北で終わってはいません。イエスは裁判にかけられ、十字架刑にされましたが、わずか3日後に、奇跡的に死からよみがえったのです！
一方、弟子達は、小さな部屋に集まって隠れていましたが、弟子達の隠れ場所を知っておられたイエスは、彼らの前に姿を現しました。それから40日間に渡って、イエスはたびたび弟子達の間に姿を現し、いっしょに歩き回ったり、彼らを励ましたりされました。また、御自分が去った後の

弟子達の使命についても説明されました。40 日たって昇天する直前に、イエスは弟子達にエルサレムに戻るようにと命じられ、「上から力を授けられるまでは、わたしの父の約束を待っているがよい。聖霊があなたがたに下る時、あなたがたは力を受けて、わたしの証人となるであろう。」と言われました。[6]

使徒達はエルサレムに戻り、他の 120 人以上の弟子達、さらに彼らの妻や子供達といっしょに、屋上の間に集まりました。そして、イエスの昇天前の最後の命令に従って、祈りながら待っていました。

10 日後に、激しい風が吹いて来たような音が起こって、一同が座っていた家いっぱいに響き渡りました。また舌のようなものが炎のように分かれて現れ、一人一人の頭の上にとどまりました。すると一同は聖霊に満たされ、聖霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出したのです。[7]

これこそ、弟子達が待っていたものでした。主イエスが去られた後も主の仕事を続けていくのを可能にするための、主からの超自然的な力です。神の聖霊の力によって、心も人生もすっかり変わったペテロは、新約聖書に記されている驚異的な証しの冒険へと、弟子達を導くことになります。

当時、エルサレムには、ユダヤ人恒例の収穫の祭りを祝うために、国外から多くの人々がやって来ていました。ペテロが、今やあふれるまでに聖霊に満たされた 120 人の弟子達と共に路上に出ると、彼らは全員、その日にエルサレムを訪問していたたくさんの人々の国の言語で超自然的に語り始めました。弟子達の誰も、それらの言語を前から知っていたわけではなかったのにです。弟子達は群衆に、イエスの内にある神の愛の素晴らしい知らせと救いのメッセージについて、証ししました。

それから、ペテロはそばにある建物の階段に上がって手を挙げ、群衆に向かって大声で呼びかけて静まらせました。彼が並々ならぬ権威をもって話したので、その結果、3 千人という驚くほど大勢の人々が救われたばかりか、その日に弟子として全時間主に仕える決心をしたのです。

ペテロは変わりました。イエスが逮捕された後、とても臆病になって、3度もイエスを知らないと否定するほどだったその彼が、今やイエスが十字架にかけられたまさにその同じ町で、何千人もの人々の前に立って、大胆に、神のメッセージを宣言しているのです。何がこの変貌をもたらしたのでしょうか？ それは、聖霊の力です。主が約束されたように、聖霊が下った時、弟子達は力を受けたのです。

ペテロは、イエスを拒んだ時に厳しい試練を経験しましたが、もはやそんなことを悔やんでいる暇はありませんでした。証しをして人々を神の王国に勝ち取るという仕事が爆発的に進行しており、主は、ペテロが夢にも思わなかったような方法で彼を使っておられました。以前彼はとても衝動的で、いつも場違いなことを言っているようでしたが、今は、主が祈られたように、兄弟を力づけていたのですから。[8]

主がとても多くの奇跡を行っておられるのを目の当たりにして、弟子達はみんな、大喜びでした。主が最も絶望的な状況にあった時に、彼らは皆主を見捨ててしまったものの、イエスがなお自分達を愛してくださっていることを知って、今では、イエスが彼らと共に歩まれた時以上に強い信仰を持つようになりました。

イエスが去ってしまったという感覚はもはやないだけでなく、かつて以上にイエスと近くなったようにさえ思われました。彼らは、主が以前自分達に語られた言葉を思い出しました。「わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのだ。わたしが去って行かなければ、あなたがたのところに助け主は来ないであろう。それは、聖霊である。今聖霊はあなたがたと共にいるが、その時になれば、あなたがたの内にいるであろう。わたしを信じる者はまた、わたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである！」[9]

3千人以上の新しい人達が救われてから間もないある日のこと、ペテロとヨハネは、生まれつき足が不自由だった人を群衆の目の前で即座にいやし、見ていた人達をびっくり仰天させました。そこでペテロが、奇跡を見に来た

教え切れないほどの人々に向かって語ると、更に 5 千人が弟子として加わりました。それで弟子の数は 8 千人にまで増えましたが、それには女性と子供の数は含まれていません。これこそが、イエスが語っていた「もっと大きなわざ」でした。どうしてそんなことができたのでしょうか？それは、イエスが共におられただけではなく、聖霊を通して、彼らに力と教えと知恵を授けておられたからです。

その後、ペテロとヨハネは、救い主を十字架にかけた邪悪な宗教指導者達によって起こされた迫害に直面しました。けれどもこの時は、恐れたり怖気づいたりすることもなく、主を否定することもありませんでした。ペテロは議会の前に立ち、勇気と御霊の権威にあふれた証しをしました。聖書にはこう書かれています。「人々は、ペテロとヨハネとの大胆な話しぶりを見、また同時に二人が無学な、ただの人達であることを知って驚嘆した。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認めた。」[10]

どうして人々は驚嘆したのでしょうか？　それは、イエスが地上で持っておられたのと同じ力を弟子達が持っているのを、目の当たりにしたからです。

参照個所：

[1] マタイによる福音書 26:31 とゼカリヤ書 13:7

[2] マタイによる福音書 26:31-35

[3] ルカによる福音書 22:33

[4] マルコによる福音書 14:70,71

[5] ルカによる福音書 22:59-62

[6] ルカによる福音書 24:49 と使徒行伝 1:8

[7] 使徒行伝 2:2-4

[8] ルカによる福音書 22:32

[9] ヨハネによる福音書 14:12, 16, 17; 16:7

[10] 使徒行伝 4:13

文：宝（© 1987 年）からの編集　英語の朗読：ジェレミー　絵：松岡陽子・やすし
出版：マイ・ワンダー・スタジオ　Copyright © 2014 年、ファミリーインターナショナル
"An Audio Bible Adventure: Peter’ s Transformation"--Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ 聖書の冒険シリーズ、子供のための聖書物語、勇気、神の偉大な人々、聖霊